

(食料品)

●食料品

中国醤油醸造協同組合

当月の出荷量は前月比+12.1%、前年同月比+8.8%。売上高は前月比+13.9%、前年同月比+26.9%となった。

広島県東部菓子商工業協同組合

売上は順調だが、原材料や人件費の上昇が負担となっている。円安傾向が是正されない限り、業界の業績は改善しないと思われる。

(繊維工業)

●繊維工業

一般財団法人広島県織物工業会

先月同様、大きな変化はない。年末～年明けにかけては、日中3月並みの気温となり冬物の需要が低下するため、低調に推移していくと考えられる。

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

【全国】

- ・11月の新設住宅着工戸数は66,238戸で前年同月比▲8.5%、季節調整済年率換算値では775千戸(前月比▲4.0%)となった
- ・利用関係別では、持家は17,789戸で前年同月比▲17.3%、貸家は28,275戸で▲5.3%、分譲住宅は19,578戸で▲5.2%。また、木造住宅は38,755戸で前年同月比▲7.2%であった
- ・住宅着工動向の前年同月比は、持家の減少が24ヶ月連続、貸家の減少が4ヶ月連続、分譲住宅の減少が6ヶ月連続、木造住宅は20ヶ月連続の減少となっている

【広島県】

- ・11月の新設住宅着工戸数は1,237戸で、前年同月比▲23.8%、うち持家は319戸で▲20.4%、貸家は433戸で▲50.5%、分譲は469戸で+34.4%であった。県全体の住宅着工戸数の前年同月比は大幅に減少し、延床面積も前年同月比▲16.1%となり、木材需要の見通しは厳しい状況にある
- ・インフレによる住宅価格の高騰による購入意欲の減退、延床面積の縮小による住宅での木材需要の減少、大手製材工場の火災に伴う米松製品の受注制限、急速な円安進行に伴う輸入製品の仕入れコスト増加により、外材から国産材へ代替える動きがある
- ・木材需要の先行き不透明な状況により、プレカット工場の稼働は、10月は前年並みに持ち直したが、11月から連続して受注が落ち込んでおり、今年度末まで受注は低迷するとの見方も多い

(印刷)

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

業界全体としては、徐々に仕事量が減少していると感じる。人材不足も深刻である。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

当月の業界の景況感はやや好況にあるが、深刻な人手不足の中で賃上げ等が求められ、コストの上昇分に対して価格転嫁を行わなければ今後利益を出すのは難しい。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

- ・自動車関係等、全体的に売上が回復傾向にある
- ・材料単価が上昇して、材料比率が高くなる傾向にある

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

・出荷状況

令和5年12月 3, 123 m<sup>3</sup> (対前年比115.4%)

令和5年11月 3, 152 m<sup>3</sup>

令和4年12月 2, 707 m<sup>3</sup>

・令和5年度想定数量

760, 000 m<sup>3</sup>

(鉄鋼・金属製品)

●鉄鋼

軋鉄鋼協同組合連合会

業界の景況感は個々の企業で多少の差異はあるが、全体的にはやや後退気味である。観光や飲食関連は、ほぼコロナ前に戻ったと思われる。

●一般機械

(一般機械器具)

広島県東部機械金属工業協同組合

売上は前月比+3.3%、前年同月比は▲49.3%となった。また、日工会が発表した11月の工作機械受注実績は前年同月比▲13.6%の1,158億9,900万円、前月比は+3.4%となった。

(電気機械器具)

広島県東部機械金属工業協同組合 (電気機械器具)

売上は前月比▲15%、前年同月比▲30%となった。機械装置の売上減少が要因。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具 (自動車)

東友会協同組合

マツダの生産は市場の国内・海外とも需要は盛んで順調に増える状況。但し、新型車(CX-60/CX-90)は品質確認で12月から一時的に生産が滞っているが、2月には復帰して全体的には生産台数は回復する見込み。

(12月度自動車国内販売動向)

全需は363千台、前年同月比+5.4%と16ヶ月連続で増加。(登録車は+11.1%、軽自動車は▲3.5%)、マツダは▲13.0%と減少。マツダの内訳は登録車▲9.8%(8.7千台)、軽自動車▲25.6%(1.9千台)

(11月度自動車海外販売動向)

アメリカの全需は1,244千台で、前年同月比+9.3%と2ヶ月連続で増加。マツダは+3.0%と、前年同月比が1ヶ月振りに再び増加に転じた。

欧州の全需は1,092台で、前年同月比▲2.7%と15ヶ月振りに減少。マツダは+17.7%と前年同月比を12ヶ月連続で増加した。

中国の全需は2,441千台で、前年同月比+4.9%と2ヶ月連続で増加。マツダは+43.5%と3ヶ月連続で増加した。

マツダの11月の海外販売は、東南アジアや中東で一部落ち込んだが、全体では増加傾向にある。合計台数は87.7千台、前年同月比+17.6%と増加した。

(11月度自動車輸出・生産動向)

マツダの輸出台数は、前年比+9.2%。生産台数は+6.3%と増加した。

●輸送用機械器具 (造船)

中国地区造船協議会

県内、2,500総トン以上の令和5年11月の船舶建造許可実績は3隻、106,100総トンであった。(前月3隻144,900総トン、前年同月5隻418,750総トン)なお、内訳は国内船1隻で油槽船、輸出船2隻で貨物船であった。

(一社)中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化は無い。

## (卸売業)

### ●卸売業（総合）

#### 協同組合広島総合卸センター

- ・12月の第1週土日に開催した「卸街まつり」では来場者数が前年比118%、店舗売上高が144%と前年を大きく上回る結果となった。コロナウイルス感染症の沈静化や2日間とも天候に恵まれたことにより、個人消費は一時的にも回復の兆しが伺える。令和6年への持続的消費拡大に期待をしたい
- ・一方で組合員企業の人手不足感はますます深刻であり、求人募集への反応も鈍く、従前の賃金では人材を補えない環境へ変化している。今後より一層の業務合理化や省力化への投資が求められるが、人件費の上昇が収益性を悪化させており、これらの取組みを阻害している

### ●卸売業（電設資材）

#### 広島県電設資材卸業協同組合

高圧ケーブルや低圧ケーブルの受注ストップに加え、宅内配線ケーブルまでも品不足の状態となり、今後の竣工予定現場に影響が出ていることが業界の大きな問題。過去に例がない異常事態になっている状況。

### ●卸売業（畳・敷物）

#### 広島県畳製品商業協同組合

取扱高は、びんご特撰は4月からの累計で前年比101.8%、JAS畳表は78.6%とマイナスが続く、11月と12月は需要増加で多少持ち直しはあったものの、全体では前年比86.4%と依然厳しい状況が続いている。

## (小売業)

### ●各種商品小売業

#### 広島生鮮三品連絡協議会

- ・12月度中央市場水産部の取扱高は単価の上昇により増加したが、物量はコロナ禍以前の水準まで至っていない
- ・ぶり、有頭えび、はまぐり等のお正月商材の売れ行きは年々下落傾向で、おせち料理も出来合い商品を買う傾向が進んでいる
- ・12月度中央市場青果部の取扱高は減少。野菜については好天候により出荷が前倒されたため出荷量が減少、果実は全体的な成育不足により出荷量が大幅減少したことが要因。売上高は相場高から前月より上回ったが、前年並みにとどまった
- ・2024年問題の高まりにより運賃の値上げは浸透してきたが、食品小売業者は、電気・ガス代など水道光熱費や人手不足・最低賃金の上昇によるコスト増加分に対して価格転嫁できず、赤字や減益から脱却できていない

#### 協同組合三次ショッピングセンター

店舗リニューアル直後と繁忙期が重なり、売上客数ともに前年を大きく上回っている。12月中旬、降雪によって客数が減少した日があるが、月間で見ればさほど影響はなく売上は好調。今後は現状をどう維持していくかが課題となる。

### ●家庭用電気機械器具小売

#### 広島県電器商業組合

令和5年12月度販売実績91%（前年同月比）。AV商品88%、白物商品101%、薄型テレビ95%（内有機EL81%）、DVD86%、冷蔵庫98%、洗濯機96%、IHクッキングヒーター91%、エコキュート100%、エアコン119%、炊飯器94%、電子レンジ87%、掃除機106%。

本年も昨年同様 家電商品が普及し新規需要が望めないため、いかに家電以外で利益確保をしていくかがポイントになる。また、国内家電メーカーの商品陣容の縮小が進んでいる。

## (商店街)

### ●商店街（各種商品小売業）

#### 呉本通商店街振興組合

- ・令和6年1月26日～28日に呉市が主催するイベント（リノベーションスクール）に向けた事前講演会が、12月13日に実施された。リノベーションスクールとは、呉中央地区の空き店舗や空き家を活用した新店舗・新ビジネスの誘致するもので、過去のスクールをきっかけに6件のプランが事業化している
- ・呉市商工振興課では、呉市内の事業者に対して事業継承の状況や今後の意向等に関するアンケート調査を実施している。商工振興課からの依頼により、年末の商店街会報の配付の際に、本通商店街の事業者約150先にアンケート用紙の配付を行った

(サービス業)

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

- ・車検台数は、前月比▲5.2%、前年比+7.3%
- ・車検場収入は、前月比▲6.6%、前年比+5.7%
- ・重量税・登録印紙税の売上は、前月比▲24.1%、前年比▲20.4%

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

単発の大型案件などもあり、売上については増加しているが、今後は閑散期のため、減少する見込み。

●情報サービス

一般社団法人広島県情報産業協会

電子部品の入手難ほぼ解消された一方で、製造業の立ち上がりが悪い。完全な回復にはもう少しかかる様子。

(建設業)

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロスの3品目合計について、当月は前月比+12.2%、前年同月比+34.2%となった。カーテンが全体をけん引したが、依然として大型物件の受注は少ない。

福山地区電気工事業協同組合

官庁関係からの大幅な受注増加により、当月分の受付件数は、1,120件で前年同月比39.7%となった。

神辺建設業協同組合

売上が回復傾向にあるが、人手不足が深刻である。

(運輸業)

●道路貨物運送業

広島東部トラック運送事業協同組合

- ・12月の売上高は前月比、前年同月比ともに増加
- ・軽油価格は政府の補助金額の減額により2.4円の値上げとなった
- ・業界全体では、燃料価格の高止まりに加え、人件費の上昇も資金繰りに悪影響を与えており、人手不足による倒産も急増している

松永地区トラック事業協同組合

- ・12月の売上高は前月比、前年同月比ともに大きな変化はなかった
- ・例年、月末に向けて貨物量が増えていたが、今年度は月末が近づいても減少している。運賃が上がらない上に軽油価格が高止まりしているため、得意先からの依頼以外は、長距離輸送を避ける傾向がある

中国カーゴ軽自動車運送協同組合

年末の繁忙期ということもあり、一時的にコロナ渦前の活況に戻っている。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

- ・船員の高齢化が進み船員不足である
- ・若年船員が育たない
- ・運賃や用船料の改善がみられない

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

- ・12月は地価公示等公共の仕事で、一般鑑定を控える分、前月と比較し売上等は悪化している。前年同月比についても、12月は公共評価等のため昨年同様特に変化はない
- ・不動産市場については、商業地域での売買が、金融機関の融資規制で減少している。一般向けでは、材料費の高騰や人手不足で、戸建住宅、共同住宅の建築等が減少しているが、マンション販売については、新築が増加し、中古は依然として販売価格が高値で推移している